

子どもの未来を明るくするため 子どもとの接しかたについて考えてみませんか

良いことをしたときは
しっかりとほめあげましょう



現代の子どもたちを取り巻く環境は、パソコンや携帯電話などの電子メールの普及により、いつでも、どこでも、だれとでも、顔を見ずに、話さずに、情報交換ができる情報化社会となっています。しかしその反面、直接人と接する機会が減少し、人とのコミュニケーションや感情表現が苦手な子どもたちが増えています。

子どもたちは今、夏休み期間中で、家庭で過ごし家族と触り合う時間も増えています。これを機会に、子どもとの接し方にについて考えて、子どもの未来を明るくしてあげませんか。



福岡県が、平成13年に実施した調査によると、「自分は何をやつてもダメな人間だと感じることが『よく』『時々』ある」と答える子供もが、小学6年生で48・4%もいました。また、「あなたの良いところは?」と尋ねると、子どもたちはあまり答えられないことができませんでしたしかし、「あなたの良くないところは?」の問いには、たくさんの回答がありました。

この調査結果から、現代の子どもたちは、自分自身を肯定的に見えてるところができないところが分かります。このような子どもたちは、他

人と関わった場合に、「自分はどう評価されているのだろうか？ 相手に嫌われていらないだろうか？」などと心配します。これは、自分を認め期待する気持ち（自尊感情）が、低下していることが主な原因と言われています。特に、虐待を受けた子どもはこのような特徴が顕著に表っています。



最近の子どもたちの、様々な問題行動の背景には、この自尊感情の低下が考えられます。このようなことから、これからは私たち大人がこの自尊感情について正しく理解し、子どもたちの自尊感情が少しでも高まるように接することが大切ではないでしょうか。

自尊感情とは…

自分が価値のある人間だと自覚し、自分の存在を大切に思う気持ちです

自尊感情が低くなると、自分に自信がもてなくなり、積極的に活動ができなかつたり、主体的に物事に取り組むことができなくなります。また、自分の将来に対する夢や希望を持つなくなることもあります。

最近の子どもたちに見られる行動で、人間関係がうまく築けないことが自立できないことも、自尊感情が低下していることがその原因と考えられます。自尊感情は、虐待を受けている子どもだけではなく、すべての子どもに必要な感情なのです。



家庭で出来ること たつた5文字の 魔法の一ひとばー！

お口じを認む如こましょう

はありません。遊びや手伝い、何か良いことをして認められるといった何気ない日常生活の積み重ねが大切なのです。

**失敗から学ばせ
自分の力でやり遂げる体験を
させましょう**

自尊感情を高めるには

子どもの自尊感情を高めるには、
次のようなことが必要です。

子どもが家で身につけたことは



**あなたの生き方が
子どもへの最高の教育に
なります**



子どもに関する相談窓口



- ・子どもホットライン 24
(福岡教育事務所
児童生徒指導相談室)
☎ 641-9999
- ・ハートケアふくおか
(中央少年サポートセンター
: 福岡県警)

- ・**福岡県中央児童相談所**
☎ 586-0023
- ・**家庭児童相談室**
(粕屋保健福祉環境事務所)
☎ 939-1929
(子どもの権利相談室)
☎ 0120-928-379

相談してください